

# 平成27年度予算見積調書

課室名： 高校教育指導課

担当名： 産業教育担当

内線： 6775

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B55	みどりの再生に取り組む県立高校パワーアップ事業			一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	指導内容充実費	
事業期間	平成23年度～平成27年度	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律			戦略項目	10	みどりと川の再生	
					分野施策	040101	みどりの再生(身近な緑の保全・創出・活用)		
1 事業の概要 みどりの再生に取り組む県立高校を指定し、環境に関する課題を探求する学習活動を支援するとともに、みどりの再生により「住みやすく環境にやさしいゆとりの田園都市 埼玉」の実現に寄与する。 温室効果ガス削減などへの対応は地球規模の課題であることから、その解決のため高校段階の実践的な取組が重要である。環境問題について県民の意識と関心が高まる中、みどりの保全と創出に積極的に取り組む県立高校を支援し、個々の取組を充実させる必要がある。 (1) みどりの再生に取り組む県立高校 パワーアップ事業 6,255千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア みどりの再生に取り組む県立高校パワーアップ事業 6,255千円 (ア) 豊かな自然環境を守り育てる学習活動の充実(県立高校7校を推進校に指定) 3,358千円 (イ) 身近なみどりの活用と再生に取り組む学習活動の充実(県立高校5校を推進校に指定) 2,112千円 (ウ) 健全な森づくりを体験的に学ぶ機会の充実(県主催スタディツアーを年3回実施) 785千円 (2) 事業計画 ア 豊かな自然環境を守り育てる学習活動の充実 (ア) 植林、間伐、下草刈り、県産材利用などの学習(平成27年度は4校・生徒940名の参加を予定) (イ) 緑化活動、希少植物保護、ヒオトープ整備などの学習(平成27年度は3校・生徒330名の参加を予定) イ 身近なみどりの活用と再生に取り組む学習活動の充実 (ア) 地域と協働して行う里山の保全・再生に係わる学習(平成27年度は5校・生徒220名の参加を予定) (イ) 観察会や交流イベントの実施(平成27年度は2校・生徒120名の参加を予定) ウ 県教委主催事業として高校生を対象にスタディツアーを実施(平成27年度は3回・生徒120名の参加を予定) (3) 事業効果 ア 高校生に体験的な学習の機会を与えることにより、明日の埼玉を担う人材育成に資する。 イ 平成23年度は県立高校9校が事業を実施し、のべ892名の生徒が参加した。また、690本の樹木を植栽し、約12,800㎡のみどりの保全(間伐、下草刈り、湿地の再生等)を行った。 ウ 平成24年度は県立高校10校が事業を実施し、のべ1,265名の生徒が参加した。また、980本の樹木を植栽し、約18,100㎡のみどりの保全(間伐、下草刈り、湿地の再生等)を行った。 エ 平成25年度は県立高校12校が事業を実施し、のべ1,518名の生徒が参加した。また、約1200本の樹木を植栽し、約21,700㎡のみどりの保全(間伐、下草刈り、湿地の再生等)を行った。 オ 平成26年度は県立高校12校が事業を実施し、前年度以上の生徒参加を図った。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 ア 森林サポータークラブ、100年の森づくりの会、大滝げんきプラザ等との連携を図った。(平成24年度) イ 秩父市、長瀬げんきプラザ、森の博物館等との連携を図った。(平成25年度) ウ 森林サポータークラブ、100年の森づくりの会等のボランティアとの連携と活用を図った(平成26年度) エ 自然を守るNPO法人、森林林業組合等のボランティアの積極的な活用に努める。(平成27年度)					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.2人=1,900千円									
				財 源 内 訳					
予算額		繰入金						一般財源	前年との 対比
決定額	6,255	6,255						00	
前年額	6,255	6,255							